

浅利さんに社会教育功労委員表彰 町の生涯学習発展に功労

町社会教育委員の浅利和昭さん(19区)が県社会教育功労委員表彰を7月9日に受賞しました。
浅利さんは、町芸術文化協会長を務める傍ら、平成18年から町社会教育委員として社会教育に関する諸計画の立案、審議に携わり、生涯学習の内容充実と社会教育関係団体の育成に尽力。町の生涯学習発展への功績が認められ、受賞されました。



平泉の価値や在り方を考える 「平泉世界遺産の日」シンポジウム

「平泉世界の日」シンポジウム(県、世界遺産連携推進実行委員会主催)が6月27日、中尊寺本堂で開催されました。
山田俊和貫首による講話、早稲田大学名誉教授で元毎日新聞社論説委員の原剛さんによる基調講演に続き、パネル討論には作家の藤沢摩彌子さん、宮城学院女子大学の大平聡さん、毛越寺貫主代行の藤里明久さん、原さんの4人が参加。大平さんは「今まで以上に平泉に愛情と誇りを持ってほしい」と話すなど、それぞれの平泉への思いを語りました。



平泉文化の理解を深める ときめき世界遺産塾が開講

平泉の文化遺産への理解をより深め、世界遺産を守り受け継ぐリーダーの育成を目的とした「ときめき世界遺産塾」(塾生52人)が開講しました。
第1回講座は7月11日に役場会議室で開講し、「平泉早わかり授業」の後、中尊寺や毛越寺を訪れ、僧りよの説明に耳を傾けながら世界遺産への理解を深めました。
この講座は、県南4市町の児童生徒を対象にしており、12月までの計6回にわたり、歴史や文化を学んでいきます。



世界平和や復興に向けた誓い 平泉世界遺産の日に「平和の祈り」

6月29日、県条例で制定された「平泉世界遺産の日」に合わせて、毛越寺で初めて「平和の祈り」(世界遺産登録5周年記念事業実行委員会主催)が開催されました。
宗派を超えた町内全9寺院の僧りよ17人、町民や県内各地から約300人が参加。屋外の南大門跡祭壇で法要を執り行いました。また本堂前では、平泉小学校5、6年生108人が合唱「平泉讃歌」を披露し、世界平和と東日本大震災の犠牲者追悼の祈りをささげました。

さまざまなアジサイを楽しむ 西行桜の森「アジサイ散歩」

アジサイ散歩が7月11日、東稲山に連なる駒形峰にある西行桜の森で開催されました。桜の名所として知られる西行桜の森ですが、夏はアジサイの鑑賞スポットになります。
この日アジサイ散歩には町内外から12人が参加。雲一つない晴天の中、参加者は西行桜の森の中にある木工芸館「遊鵬」から約3kmの散策路を歩き、駒形峰山頂からの眺めや、散策路沿いに咲き誇る色とりどりのアジサイ約3,000本を楽しんでいました。



犯罪や非行のない社会を目指し 社会を明るくする運動

7月の社会を明るくする運動強化月間に合わせ、同運動町推進委員会の委員が平泉駅前や各小中学校の校門前でありさつ運動などを行い、犯罪や非行の防止、犯罪者の立ち直りを地域で支えていくことへの理解と協力を呼び掛けました。同運動は、法務省が主唱し今回で65回目を数えます。
ポケットティッシュなどの啓発品を配りながら、委員が「おはようございます」と駅利用者や児童と元気なあいさつを交わっていました。



互いの町の文化歴史の認識を深める 国見ジュニア探検隊が来町

奥州藤原氏に関する史跡がある縁で福島県国見町の児童20人が、国見・平泉交流事業として7月18日から19日の1泊2日で町を訪れました。この事業は両町の児童が、互いの町の文化や歴史を学びながら交流を深め、次世代を担う青少年リーダーを育成しようと、平成25年から実施しています。
19日には平泉小、長島小の児童と対面式を行い、手作り名刺を交換したり、水かけ神輿と一緒に参加するなど交流を深めました。



甲状腺の基礎知識を学ぶ 検査前に住民セミナーを開催

「甲状腺の基礎知識と検査」の住民セミナー(環境省、町主催)が7月2日、役場会議室で開催されました。
セミナーには保護者ら約30人が参加。放射線の影響による健康不安の解消を目的とした甲状腺超音波検査費助成事業の実施に先立ち、福島県での甲状腺超音波検査の検診の利点と問題点について医学的・科学的な見地から説明され、参加者は甲状腺や検査内容について理解を深めていました。